

紀 要 論 文 一 覧

ここに札幌大学教養部・札幌大学女子短期大学部紀要の創刊記念号から第7号までに掲載された論文題目、および論文執筆者を紹介する。

1968. 3. 記念号（札幌大学紀要・教養部論集）

序 文	金 卷 賢 字
擦文式土器の初現的形態に関する研究	石 附 喜三男
饗庭野の土地利用と入会の関係	内 田 実
「黒マタ・白マタ・赤マタ」の祭祀 — 西表島・古見部落の豊年祭 —	宮 良 高 弘
鳥の田植民俗と「田植草紙」の朝哥	渡 辺 昭 正
古今集における誹諧歌の位相	伊 賀 上 正 俊
芭蕉における風狂の精神（その一・その二）	野 毛 孝 彦
一葉文学における近代的自我の問題 —— 「にごりえ」・「十三夜」を中心に ——（その一）	木 村 真 佐 幸
「たけ高き女」の種姓 —— 堀辰雄の「かげろふの日記」における自己限定 ——	大 森 郁 之 助
ハーディの自然 —— 『帰郷』を中心に ——	佐 々 木 清 明
イアゴウの性質 —— 嫉妬とひひ性 ——	前 田 利 雄
Samson Agonistes におけるミルトンの立場 —— その非キリスト教的なものについて ——	小 泉 義 男
グリム兄弟の周辺(1)	園 法 子
トロバドール管見 — Guillaume IX	園 冬 晴
Gérard de Nerval: <i>Artémis</i> についての覚書	小 副 川 明

藤島武二論……………山 川 義 夫

1968. 12. No. 1 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

人間未来学の初想……………金 卷 賢 字
—— 試論三章 ——

ブラメルドに於ける教育的価値論……………金 丸 弘 幸

W. I. タマスの社会心理学 ……………大 橋 英 寿
—— その領域規定と方法論 ——

美に於ける東と西……………山 川 義 夫

スペインの古写本にみられるビウエーラに関する考察……………小 原 慎 一

数学教育への提案……………西 島 民 雄

円盤投の研究……………富 田 友 治

札幌大学生の体格・体位および運動能力についての調査研究 柴 田 勗
—— 体格および体力について —— ……………富 田 友 治
太 田 恭 子
奥 村 博 徳
倉 島 武 徳

Drosophila Survey of Hokkaido, XXVI.
Descriptions of the three new species of Drosophilidae
from Hokkaido ……………Haruo Takada

再び「詞に属する敬語と敬意のかかわり合い」をめぐって……………坂 本 元 太 郎
—— いわゆる素材間の関係を規定する「敬語」における表現主体の敬意の
考察と「謙讓語」における「謙讓」と「受手尊敬」との区別について ——

心敬, その連歌論と無常について……………野 毛 孝 彦

物ぐさ太郎の種姓……………渡 辺 昭 五

信濃へ往く^{ツマ}婦……………大 森 郁 之 助
—— 堀辰雄の方法についての序章 ——

1971. 3. No. 2 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

- 初期堀辰雄文学の低音部……………大 森 郁之助
——「末摘花」をめぐる——
- 鷗外の歴史小説試論……………木 村 真佐幸
——その転機の一側面——(一)
- 連体格助詞「の」の周辺……………坂 本 元太郎
——〈格言+の…連体形〉の構文における「の」の問題点——
- La Vihuela de Mano y Sus Descendientes ……Shin'ichi Obara
- 一次元 RC 回路網による地温の解析……………和 田 昭 夫
- 北海道のショウジョウバエ……………高 田 春 夫
——その分類と生態——
- 女性の健康生活について……………太 田 恭 子
——運動経験の有無とその関係——
- 教育に於ける美的価値論……………金 丸 弘 幸
——ハーバート・リードの芸術教育論をめぐる——
- 新世界のパイナップルについて……………梅 原 達 治

1972. 3. No. 3 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

- 「風立ちぬ」の構成的性格 ……大 森 郁之助
——作中作の設定をめぐる——
- 鷗外の歴史小説試論(二)……………木 村 真佐幸
——「興津」改作の背景——
- 中 世 の 心……………伊 賀 上 正 俊
——西行の場合——
- 現代敬語における敬意の再解釈……………坂 本 元太郎
——時枝説と下位者への敬語をめぐる——
- ニュートンのクーリングの式の検討及び1 m深
地温分布の図式解法と川湯地域への適用……………和 田 昭 夫

幼児の運動能力と環境条件について……………倉 島 武 徳

北海道の神社の人類的研究 (1)……………梅 原 達 治

1972. 9. No. 4 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

「橋の手前」の資質 ……………大 森 郁之助
—— 芹沢光治良論の基点として ——

鷗外の歴史小説試論 (三)……………木 村 真佐幸
—— 初稿「興津」から改稿「興津」へ ——

北海道の相馬神社……………梅 原 達 治
—— 北海道の神社の人類学的研究(二) ——

音 楽 の 美 (形式の1) ……………小 原 慎 一

法則及びその地球への適用に対する考察……………和 田 昭 夫

札幌大学学生の体格・体力についての調査研究 (第2報) 柴 田 勗
—— 現代把握と推移について —— ……………富 田 友 治
太 田 恭 子
奥 村 博 徳
倉 島 武 徳 夫
久保田 敏 夫

報告：氷の結晶に於る混入粘土の分布……………和 田 昭 夫

1973. 3. No. 5 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

「離愁」における保身の構造 ……………大 森 郁之助
—— 芹沢文学の倫理性の発想法 ——

Drosophila Survey of Hokkaido, XXIX. ……………Haruo Takada
On *Amitoa trochlea* sp. nov. (Drosophilidae) with and
supplementary notes on Diastatidae from Japan Masanori J. Toda

地表面からの冷却について……………和 田 昭 夫

バスケットボール選手の性格特性と
ゲームにおける特徴について……………倉 島 武 徳

紀要論文一覧

平行棒運動における技術分析……………久保田 敏夫
—— 棒下振出し腕支持について (その一) ——

“江別式土器”の終末年代と所謂“北大式土器” (一)……………石 附 喜三男

報告：凍土の顕微鏡写真観察……………和 田 昭 夫

1974. 3. No. 6 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

北海道の風土と文学試論ノート (一)……………木 村 真佐幸
—— 北海道の交通発達史と文学との関係 ——

『萱草に寄す』の文脈 ……………大 森 郁之助
—— 「またある夜に」をめぐって ——

北海道の熊野神社……………梅 原 達 治
—— 北海道の神社の人類学的研究(三) ——

みかけの冷却の式について及び雪下に於る 1 m 深地温の
精密測定による温泉探査の可能について……………和 田 昭 夫

報告：氷の結晶に於る混入土粒子の分布及び凍結による
soil aggregate 及び土殻の形成及び土間の氷 ……………和 田 昭 夫

1975. 3. No. 7 (札幌大学教養部・女子短期大学部紀要)

「重衡虜」の伝承背景と『平家物語』に於ける成長過程 ……………高 橋 伸 幸

「大つごもり」成立の背景 ……………木 村 真佐幸
—— 「後の事しりたや」一視点 ——

『萱草に寄す』における少女の像の構成 ……………大 森 郁之助

北海道の出雲神社……………梅 原 達 治
—— 北海道の神社の人類学的研究(四) ——

報告：氷の結晶の異方性及び法則について……………和 田 昭 夫